

承認番号 20251119

## 説明文書

研究課題名「抗体薬物複合体サシツズマブ ゴビテカンの薬物動態学/薬力学/ゲノム薬理学研究：多機関共同前方視的観察研究」

研究責任者 \*\*\*\*\*

研究機関名 \*\*\*\*\*

(所属) \*\*\*\*\*

(各医療機関の記載事項は別紙 1 を参照)

この説明文書は、標題に示した研究について説明したものであり、研究対象者としてこの研究に参加するかどうかを判断されるにあたり、説明者の口頭説明を補い、この研究についてよく理解していただくことを目的とするものです。

本研究は、手術不能又は再発トリプルネガティブ乳がんと診断され、サシツズマブ ゴビテカン（トロデルビ®）療法が予定されている 18 歳以上の方を対象としています。

なお、本研究の実施について、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認および研究責任者が所属する各研究機関の長の許可を受けています。

## 1 この研究の目的と意義

### (1) この研究の目的

乳がん患者さんのうち、15%がトリプルネガティブ乳がんと診断されます。手術不能又は再発トリプルネガティブ乳がんの標準的な治療は化学療法ですが、2024年11月からトロデルビ®という新しいお薬が使用されるようになりました。さらに、今後トロデルビ®はホルモン陽性の手術不能又は再発乳がんにも適応拡大が見込まれています。

トロデルビ®は、抗体であるサシツズマブと抗がん薬であるイリノテカンの有効成分であるSN-38が一体化した新薬です。SN-38は、UDP グルクロン酸転移酵素(UGT)1A1によって無毒化されます。しかし、UGT1A1は遺伝子変異のない野生型のUGT1A1\*1の他、遺伝子変異のある(遺伝子多型)UGT1A1\*28とUGT1A1\*6があります。UGT1A1\*28はUGT1A1の発現量が少なく、UGT1A1\*6はUGT1A1の能力が低いため、SN-38を無毒化する能力が低下します。さらに、UGT1A1は人種差も知られており、日本人を含む東アジア人は他の人種と比較して、UGT1A1\*6を持つ割合が10倍ほど高いとされています。

イリノテカン療法では、上記の遺伝子多型を持つ患者さんは野生型患者と比較して血液中のSN-38量が多く、好中球減少症や下痢など副作用が生じやすいことがわかっています。トロデルビ®は、副作用としてイリノテカン同様に、好中球減少症が63.2%、下痢が59.3%起こることが報告されています。また、UGT1A1\*6またはUGT1A1\*28とUGT1A1\*1を1つずつ持つ場合(\*1/\*6、\*1/\*28)やUGT1A1\*28を2つ持つ場合(\*28/\*28)は、野生型(\*1/\*1)と比較して、特に重症度の高い好中球減少症や下痢の発現率が10~20%ほど上昇したことが報告されています。しかし、UGT1A1\*6を2つ持つ場合(\*6/\*6)やUGT1A1\*6とUGT1A1\*28を1つずつ持つ場合(\*6/\*28)に好中球減少症や下痢の発現がどれくらい起こるのかについて十分な研究がなされていません。また、遺伝子多型を持つ患者さんにおいて、トロデルビ®療法を行った際、血液中にSN-38がどれくらい存在するかについて十分な研究もなされていません。

本研究の目的は、トロデルビ®療法において、UGT1A1 遺伝子多型を持つ患者さんは血液中のSN-38、その代謝物およびサシツズマブなどがどれくらい存在し、また、好中球減少症や下痢がどれくらい起こるかの関係性を調査することです。

### (2) この研究を実施する意義

この研究を通して、UGT1A1 遺伝子多型と薬物血中濃度と副作用発現率の関係を明らかにすることができれば、UGT1A1 遺伝子多型を考慮した安全ながん薬物療法に繋がることが期待されます。

## 2 研究参加の任意性と撤回の自由

### (1) この研究への参加は任意です。

この研究に参加するかどうかは、ご自身の、自由な意思に基づいてお決めください。たとえ、

参加されなくても、診療その他で一切不利な扱いを受けることはありません。また、観察研究のため、研究への参加の有無によらず診療内容に何ら変更はありませんので、ご安心ください。

(2) この研究への参加に同意された後でも、いつでも撤回することができます。

この研究への参加に同意された後であっても、同意を取り消すことができます。その場合、採血した血液やデータは個人が特定できないようにした上で破棄され、それ以降にデータをこの研究目的に用いられることはありません。参加をやめることで、不利な扱いを受けることもありません。ただし、同意を取り消した時にすでに研究成果の公表後（論文投稿後・学会発表の場合、それらは廃棄できないことがあります。その場合でも、個人が特定できる情報が公表されることは一切ありません。

同意を取り消した後の診療は、通常の診療となります。

(3) 通常の診療を超える医療行為の有無（有りの場合、他の治療方法等に関する事項）

この研究への参加により、トロデルビ<sup>®</sup>1 サイクル目初回投与日（1 日目）の翌日（2 日目）に採血があります。これ以外は、通常の診療となります。

1) 他の治療方法等に関する事項

通常の診療では、トロデルビ<sup>®</sup>1 サイクル目初回投与日（1 日目）の翌日（2 日目）に採血は行われず、1 週間後の 2 回目投与日（8 日目）に採血が行われます。採血は白血球数、好中球数、ヘモグロビン値、血小板数などを確かめるためです。

2) 研究終了後の医療の提供に関する対応

通常の診療となります。

3 研究の実施方法・研究協力事項

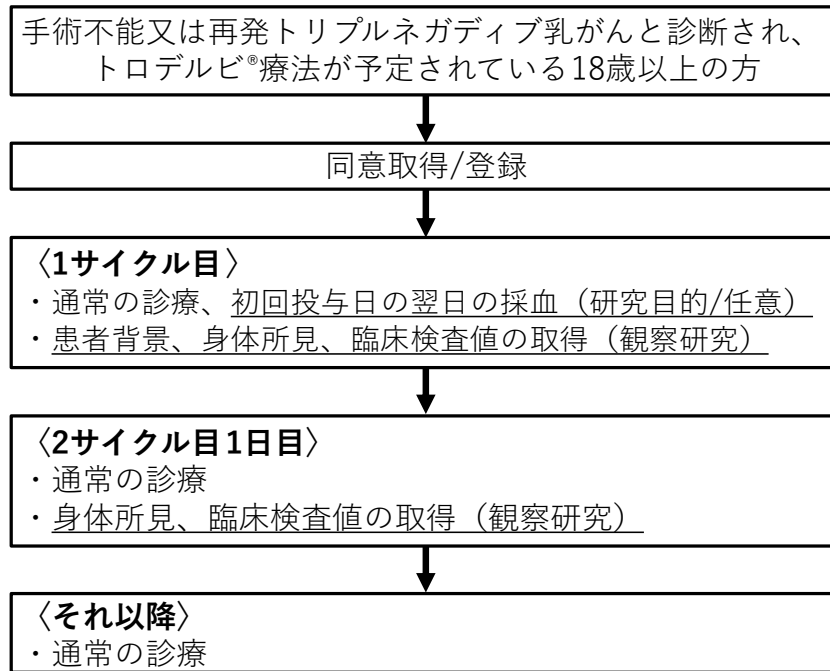
(1) この研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

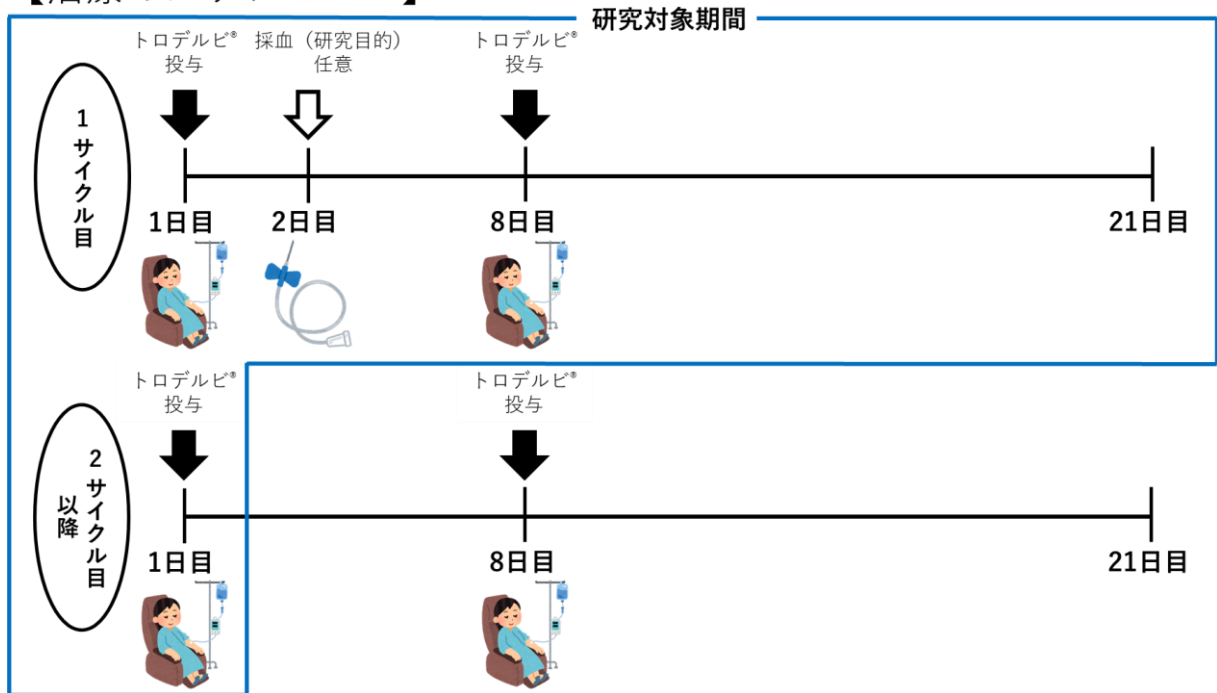
(2) この研究の実施方法

この研究への参加に同意いただきましたら、電子カルテより以下の情報を取得します。また、研究のために、通常の診療での採血とは別に採血を 1 回行わせていただきます。採血は、①トロデルビ<sup>®</sup>1 サイクル目初回投与日の翌日（2 日目）、②1 サイクル目 8 日目（通常の診療における採血日）、③2 サイクル目 1 日目（通常の診療における採血日）のいずれかの日に行います。どの日に採血を行うかは、患者さんのご都合や診療スケジュールを考慮して決定します。その後は、通常の診療となります。研究目的として採取した血液から DNA を抽出し、UGT1A1 遺伝子

の遺伝子検査を行います。また、血液中の SN-38、その代謝物およびサシツズマブなどを測定します。それらの結果と電子カルテより取得した情報の関係性を解析します。



【治療のスケジュール】



(3) 協力をお願いする事項

この研究に参加していただける場合、通常の診療よりも1回多く採血を行うことをお願いしています。1回あたりの採血量は10 mLであり、普段の採血量と同程度です。また、電子カル

テより以下の情報を取得します。

#### 1) 取得する試料・情報

##### [取得する試料]

- ・1 サイクル目初回投与日（1 日目）の翌日（2 日目）に採取した血液（研究、任意）
- ・1 週間後の 2 回目投与日（8 日目）に採取した血液（通常の診療）

##### [取得する情報]

- ・身体所見：年齢、性別、身長、体重、既往歴、前治療歴、進行病期、全身状態、エストロゲン受容体およびプロゲステロン受容体の有無
- ・有害事象の確認（事象名、発現日、重症度）
- ・血液学検査：白血球数、好中球数、ヘモグロビン値、血小板数
- ・血液生化学検査：T-Bil、LDH、AST、ALT、ALP、BUN、Cre、Na、K、Cl、Ca、CRP
- ・画像検査：CT、PET
- ・その他検査：薬物血中濃度、UGT1A1 遺伝子解析
- ・薬歴情報：トロデルビ®投与量、顆粒球コロニー形成刺激因子製剤の投与量

#### 2) 試料・情報の利用目的と取り扱い方法

患者さんからいただいた血液を含む試料や電子カルテの情報は、この研究を行うためにのみ利用されます。各研究機関で収集された試料や情報は、各研究機関または慶應義塾大学にてこの研究に携わる者が取り扱い、各研究機関の責任者が厳重に保管・管理いたします。

#### (4) この研究の実施体制

本研究を実施する共同研究機関（自機関も含む）と責任者

	研究機関名	責任者の情報	
		氏名	
1	慶應義塾大学医学部	氏名	大谷壽一
		所属	病院薬剤学教室
		職位	教授
		役割	研究責任者
2	京都大学医学部附属病院	氏名	川口展子
		所属	乳腺外科教室
		職位	特定助教
		役割	研究責任者
3	東京科学大学病院	氏名	有賀智之
		所属	乳腺外科

		職位	教授
		役割	研究責任者
4	北海道がんセンター	氏名	渡邊健一
		所属	乳腺科
		職位	医長
		役割	研究責任者
5	日本赤十字社医療センター	氏名	荻谷朗子
		所属	乳腺外科
		職位	部長
		役割	研究責任者
6	けいゆう病院	氏名	麻賀創太
		所属	乳腺外科
		職位	部長
		役割	研究責任者
7	松山赤十字病院	氏名	西山加那子
		所属	乳腺外科
		職位	部長
		役割	研究責任者

#### 4 研究対象者の利益と不利益

##### (1) この研究への参加による利益

この研究に参加されても、あなたが直接的に利益を受けることはありません。しかし、この研究を通して、UGT1A1 遺伝子多型と血液中の SN-38、その代謝物およびサシツズマブなどと副作用の関係を明らかにすることができれば、未来の患者さんにおいて、UGT1A1 遺伝子多型を考慮したより安全な治療を行うことができると考えます。

##### (2) この研究への参加による不利益

##### 1) この研究への参加に伴う負担について

##### ①身体・精神の負担

この研究に参加された場合、以下の 2 通りのうちどちらかが生じます。パターン①：外来の場合は、1 サイクル目初回投与日（1 日目）の翌日（2 日目）に採血目的の通院があります。ただし、これ以外は通常の診療を超える医療行為が行われることはありません。パターン②：入院の場合は、1 サイクル目初回投与日（1 日目）の翌日（2 日目）の採血を除いて、通常の診療を超える医療行為が行われることはありません。

## ②経済的な負担

上記のパターン①では、研究への参加に伴う通院回数の増加と在院時間の延長に伴う手間・時間と通院に必要な交通費をご負担いただきます。それ以外に新たに費用がかかることはありません。研究目的の採血にかかる費用、遺伝子検査及び血液中の SN-38、その代謝物およびサシツズマブなどを調べる費用は研究費で賄います。

### 2) この研究への参加に伴うリスクについて

必要な血液の量は、通常の血液検査と同程度の量なので重大な危険はありません。仮に採血で痛みが出た場合や気分が悪くなったりした場合は、通常の診療の対応となります。

### 3) 負担・リスクの軽減について

負担軽減費、健康被害に対する補償については下記をお読みください。

#### ① 負担軽減費について

この研究では、パターン①で参加される患者さんを対象に、1 サイクル目初回投与日(1 日目)の翌日(2 日目)に行われる採血目的の通院の終了時に負担軽減費として 5000 円相当の QUO カードを各機関の研究者からお渡しします。

#### ② 健康被害に対する補償について

この研究は観察研究であり、追加の採血はあるものの、通常の診療と同等の範囲内で行われるため、この研究に参加することで増加する健康被害のリスクは非常に低いです。採血による合併症は低い発症率ですが、疼痛、腫れ、皮下出血など局所の合併症と血管迷走神経反射があります。この研究に参加中に健康被害を受けた場合は、通常の診療と同様に適切に対処いたします。その際の医療費は、あなたが加入している健康保険による自己負担額についてはお支払いいただくこととなります。

## 5 個人情報等の取り扱い

この研究で取り扱う個人情報は下記の情報です。

- ・氏名、生年月日
- ・患者番号
- ・電子カルテに含まれる情報
- ・採取した血液(血液検体)

### (1) プライバシーの保護について

参加者の方々のプライバシーはきちんと守られます。この研究に携わる研究者などは、研究

目的で参加者より得た情報など、研究を行ううえで知り得た情報を正当な理由なく漏らしてはならない守秘義務を負っています。研究に携わらなくなった後も同様です。

## (2) 試料・情報の加工の方法

参加される患者さんの血液検体や電子カルテに含まれる情報をこの研究に使用する際には、患者さんのお名前や ID 番号とは異なる研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対照表のファイルを作成し、このファイルは各研究機関の薬剤部にて施錠して保管します。

## (3) 共同研究機関への個人情報等の提供

この研究において得られた患者さんの個人情報、他の施設に提供されることはありません。

(4) 倫理審査委員会、規制当局、モニタリング・監査担当者などが、試料・情報を閲覧する場合があります。

倫理指針の規定により、倫理審査委員会の関係者などが必要な範囲内で参加する患者さんに関わる試料（採取した血液など）や情報を閲覧することがあります。ただし、参加する患者さんの秘密は保全されます。また、これらの者には、守秘義務が課せられているため、参加する患者さんの個人情報やプライバシーは守られます。

## 6 研究計画書等の開示・研究に関する情報公開の方法

### (1) 研究計画書等の開示

もし、ご希望がございましたら、他の患者さんの個人情報の保護やこの研究に支障がない範囲内で、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができます。資料の閲覧を希望される方は、お申し出ください。

### (2) 研究に関する情報公開

この研究の概要及び進捗状況については、大学病院医療情報ネットワーク (UMIN: University Hospital Medical Information) などに公表されます。

## 7 研究対象者本人に関する研究結果等の取り扱い

この研究では、患者さんの健康や生命に影響を及ぼすことはないため、研究結果については直接的には説明しません。なお、質問がありましたら、いつでもご連絡ください。

## 8 研究成果の公表

この研究の最終的な結果は学会や学術雑誌で公表される予定ですが、結果は研究に参加して

いただいた患者さんの情報をまとめた形で報告されるため、参加者の方々のお名前などの特定できる情報が公開されることはありません。

#### 9 研究から生じる知的財産権等の帰属

この研究によって知的財産権などの権利や経済的利益が発生した場合、その帰属先は研究者および共同研究機関となります。研究に参加していただいた患者さんに、この権利が生じることはありません。

#### 10 試料・情報の保管および研究終了後の取り扱い方針

##### (1) 試料・情報の保管方法

この研究目的で採取した血液は、各研究機関から研究事務局のある慶應義塾大学薬学部臨床薬学講座に移送され、当該研究室にて厳重に保管します。また、電子カルテより取得した情報は、各研究機関の薬剤部にて保管します。この研究のために各研究機関から集めた情報は、匿名化した状態で安全性の高い閉鎖型クラウドストレージ (box) で保管します。なお、box では編集やダウンロードなどの履歴が記録されます。

この研究によって集められた試料や情報は研究の終了から 5 年間または、研究結果の最終公表後 3 年間保管します。

##### (2) 研究終了後の試料・情報の取り扱い

研究終了後、この研究で集められた試料や情報は、所定の保管期間が経過した後に廃棄します。廃棄の際は、研究用の番号の削除と対照表（患者さんの名前、患者 ID 番号と研究用の番号を結びつけるための表）の廃棄も同時に行い、特定の個人が識別できないようにしたうえで廃棄します。

##### (3) 将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性

この研究で収集した資料や情報は、将来、新たな研究に使わせていただくことがあります。ただし、その場合には、必ず新しい研究計画が倫理審査委員会で承認されてから行います。また、研究の目的などの研究の情報は、慶應義塾大学薬学部のホームページで公開されます。将来の研究にご自身の情報の使用を拒否する場合には、その機会が用意されますので、ご安心ください。

#### 11 研究資金等および利益相反に関する事項

この研究は、公益財団法人政策医療振興財団より、本研究の実施に関して用途を指定された研究助成（公益財団法人政策医療振興財団の令和 7 年度研究助成）、公益財団法人臨床薬理研究振興財団より、本研究の実施に関して用途を指定された研究奨励金（公益財団法人臨床薬理研究振

興財団の 2025 年度研究奨励金)を受けて実施します。不足する場合は、慶應義塾大学医学部病院薬剤学教室の新教育研究支援費にて実施します。

なお、本研究における研究者の利益相反については、各研究機関の利益相反マネジメント委員会等において、適切に管理され、公正な研究を行うことができると判断を受けたうえで実施しています。また、学会発表や論文公表に際しても、利益相反に関して公表し、透明化を図ることとしています。

本研究における利益相反の詳細についてお知りになりたい場合は、各研究機関の担当者までお問い合わせください。

## 12 問い合わせ先

この研究についてわからないことや心配に思うことがあれば、いつでも遠慮なく担当医師や担当薬剤師にお尋ねください。研究者および連絡先は以下のとおりです。

研究者：\*\*\*\*\* 氏名：\*\*\*\*\*

住 所：\*\*\*\*\*

電 話：\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\*

電 話：\*\*-\*\*\*\*-\*\*\*\* (夜間・休日)

(各医療機関の記載事項は別紙 1 を参照)

研究参加機関：慶應義塾大学医学部

京都大学医学部附属病院

東京科学大学病院

北海道がんセンター

日本赤十字社医療センター

けいゆう病院

松山赤十字病院

研究代表者：慶應義塾大学医学部 病院薬剤学教室 教授 大谷 壽一

研究事務局：慶應義塾大学薬学部 臨床薬学講座 准教授 河添 仁

連絡先 03-5400-2486 (平日 9:30~17:30 のみ)

承認番号 20251119

臨床試験登録番号 UMIN000059286

研究機関名 \* \* \* \*

患者 ID

## 同意文書

(各医療機関の記載事項は別紙 2 を参照)

抗体薬物複合体サシツズマブ ゴビテカンの薬物動態学/薬力学/ゲノム薬理学研究：多機関共同前方視的観察研究

私は、上記の研究について、本同意文書と同じ版番号の説明文書を用いて説明を受け、以下の各項目について理解し、自らの意思により研究への参加に同意します。

### 【説明を受け理解した項目】

- 1 この研究の目的と意義
- 2 研究参加の任意性と撤回の自由
- 3 研究の実施方法・研究協力事項
- 4 研究対象者の利益と不利益
- 5 個人情報等の取り扱い
- 6 研究計画書等の開示・研究に関する情報公開の方法
- 7 研究対象者本人に関する研究結果等の取り扱い
- 8 研究成果の公表
- 9 研究から生じる知的財産権等の帰属
- 10 試料・情報の保管および研究終了後の取り扱い方針
- 11 研究資金等および利益相反に関する事項
- 12 問い合わせ先

### 研究対象者記入欄 (ご自身で記入して下さい)

同意日 西暦 20 年 月 日 研究対象者 氏名： \_\_\_\_\_

(必須：本人同意の場合) <署名>

説明日 西暦 20 年 月 日 説明者： \_\_\_\_\_

(必須：研究責任者、実務責任者、または分担者) <署名>

説明補助者： \_\_\_\_\_

(任意：上記以外) <署名>

(個人情報管理者のみ記入)

研究対象者 ID (加工後の ID)

承認番号 20251119

臨床試験登録番号 UMIN000059286

研究機関名 \*\*\*\*

患者 ID

## 同意撤回書

(各医療機関の記載事項は別紙 2 を参照)

抗体薬物複合体サシツズマブ ゴビテカンの薬物動態学/薬力学/ゲノム薬理学研究：多機関共同前方視的観察研究

私は、以下の事項について説明を受けた上で、自らの意思により同意を撤回します。

- 同意の撤回により、何ら不利益を被ることはないこと。
- 同意撤回後は、通常の保険診療を行い、研究目的で実施する医療(通常の診療を超える医療行為など)は継続できないこと。

なお、私が研究参加中に提供した試料・情報の取り扱いについて、同意撤回後は以下のようにして下さい。(どちらかの□の中に、ご自身で✓印を付けて下さい。)

- 私が同意した際の説明文書に記載された通りに取り扱って下さい。
- 可能な範囲で、すべて速やかに破棄して下さい。

## 研究対象者記入欄 (ご自身で記入をお願いします)

同意 西暦 20 年 月 日 研究対象者 氏名： \_\_\_\_\_

撤回日 (必須：本人撤回の場合) <署名>

(研究者等確認欄)

私は、上記の研究対象者の同意撤回を確認しました。

確認日 西暦 20 年 月 日 確認者 1： \_\_\_\_\_

(必須：研究責任者、実務責任者、または分担者) <署名>

確認者 2： \_\_\_\_\_

<署名>

(個人情報管理者のみ記入)

研究対象者 ID (加工後の ID)

「各医療機関別記載事項一覧」

臨床研究課題名：抗体薬物複合体サシツズマブ ゴビテカンの薬物動態学/薬力学/ゲノム薬理学研究：多機関共同前方視的観察研究

この臨床研究の実施医療機関と連絡先（相談窓口）

1. 慶應義塾大学医学部

実施医療機関：慶應義塾大学病院

担当者：乳腺外科教室 教授 林田 哲

分担者：高橋麻衣子

関 朋子

永山愛子

横江隆道

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：慶應義塾大学病院 乳腺外科教室

担当者 林田 哲

分担者 永山愛子

電話：03-5315-4161

月～金（平日） 9：00～17：00

2. 京都大学医学部

実施医療機関：京都大学医学部附属病院

研究責任者：乳腺外科教室 特定助教 川口展子

分担者：増田慎三

川島雅央

木曾末厘乃

清水華子

福井由紀子

石井 慧

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：京都大学医学部附属病院 乳腺外科教室

研究責任者 川口展子

分担者 川島雅央

電話：075-751-3111（代表）

月～金（平日） 9：00～17：00

### 3. 東京科学大学医学部

実施医療機関：東京科学大学病院

研究責任者：乳腺外科 教授 有賀智之

分担者：石場俊之

熊木裕一

佐々木律子

林 久美子

原 正武

丸谷早紀子

尾形 綾香

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：東京科学大学病院 乳腺外科

研究責任者 有賀智之

分担者 石場俊之

電話：03-5803-5924

月～金（平日） 9：00～17：00

### 4. 北海道がんセンター

実施医療機関：北海道がんセンター

研究責任者：乳腺科 医長 渡邊健一

分担者：富岡伸元

山本 貢

太刀川花恵

敷島果林

小金澤千夏

桑原小百合

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：北海道がんセンター 乳腺科

研究責任者 渡邊健一

分担者 富岡伸元

電話：011-811-9111（代表）

月～金（平日） 9：00～17：00

#### 5. 日本赤十字社医療センター

実施医療機関：日本赤十字社医療センター

研究責任者：乳腺外科 部長 荻谷朗子

分担者：米田央后

清水淑子

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：日本赤十字社医療センター

研究責任者 荻谷朗子

分担者 米田央后

電話：03-3400-1311（代表）

月～金（平日） 9：00～17：00

#### 6. けいゆう病院

実施医療機関：けいゆう病院

研究責任者：乳腺外科 部長 麻賀創太

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：けいゆう病院

研究責任者 麻賀創太

電話：045-221-8181（代表）

月～金（平日） 9：00～17：00

#### 7. 松山赤十字病院

実施医療機関：松山赤十字病院

研究責任者：乳腺外科 部長 西山加那子

研究に関することの連絡先（相談、健康被害など）

担当：松山赤十字病院

研究責任者 西山加那子

第 1.1 版(2025 年 12 月 01 日作成)

電話 : 089-924-1111 (代表)

月～金 (平日) 9 : 00～17 : 00

「各医療機関別記載事項一覧」

臨床研究課題名：抗体薬物複合体サシツズマブ ゴビテカンの薬物動態学/薬力学/ゲノム薬理学研究：多機関共同前方視的観察研究

【保管場所】

1. 慶應義塾大学病院  
ご本人保管用、薬剤部保管用
2. 京都大学医学部附属病院  
ご本人保管用、薬剤部保管用
3. 東京科学大学病院  
ご本人保管用、薬剤部保管用
4. 北海道がんセンター  
ご本人保管用、薬剤部保管用
5. 日本赤十字社医療センター  
ご本人保管用、薬剤部保管用
6. けいゆう病院  
ご本人保管用、薬剤部保管用
7. 松山赤十字病院  
ご本人保管用、薬剤部保管用

【提出先】

1. 慶應義塾大学病院  
慶應義塾大学病院病院長 松本守雄様
2. 京都大学医学部附属病院  
京都大学医学部附属病院病院長 高折晃史様

3. 東京科学大学病院  
東京科学大学病院病院長 藤井靖久様
4. 北海道がんセンター  
北海道がんセンター院長 平賀博明様
5. 日本赤十字社医療センター  
日本赤十字社医療センター院長 中島 淳様
6. けいゆう病院  
けいゆう病院長 松本秀年様
7. 松山赤十字病院  
松山赤十字病院長 西崎 隆様